



2022年6月14日

各 位

会 社 名 株式会社薬王堂ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 西郷 辰弘
(コード番号 7679 東証プライム)
問合せ先 管理部長 西郷 泰広
電話番号 019-621-5027

自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ

(会社法第165条2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得)

当社は、2022年6月14日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および資本効率の向上を通じて株主の皆様への利益還元を図るため。

なお、資本政策の詳細につきましては、添付の「未来を共創する資本政策について」をご参照ください。

2. 取得にかかる事項の内容

- | | |
|----------------|--|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 150,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合:0.76%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 300,000,000円(上限) |
| (4) 取得期間 | 2022年6月15日～2022年8月24日まで |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付け |

(ご参考) 2022年2月28日時点での自己株式の保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く)	19,740,196株
自己株式数	23株

以上



未来を共創する 資本政策について

株式会社薬王堂ホールディングス
東証プライム 7679

2022年6月14日



※20XX年薬王堂HD店舗イメージ

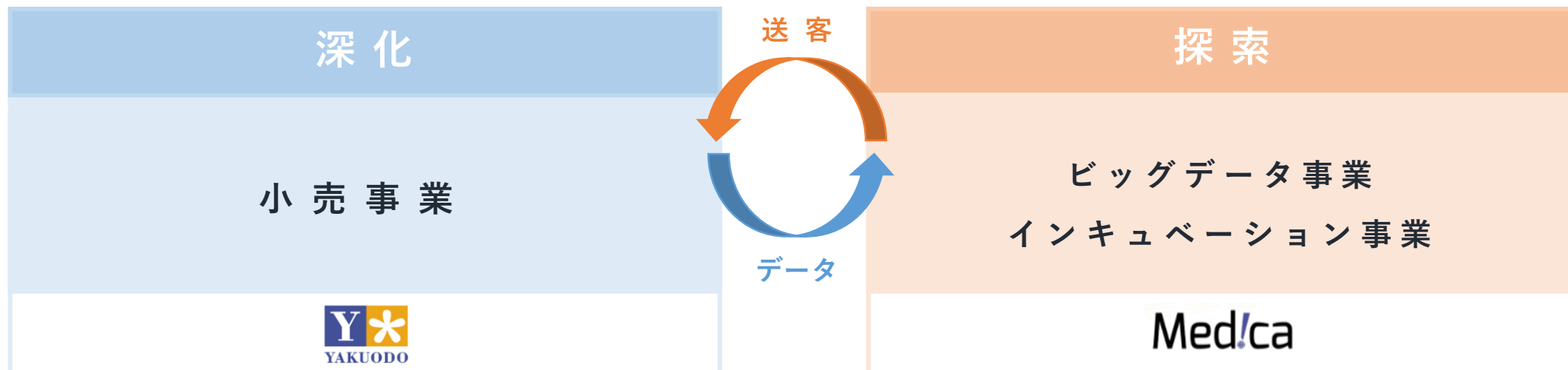
1. 資本政策の策定に向けて
～「両利きの経営」の加速～ P.3
2. 資本政策の考え方
～「成長と還元」の両立を目指す～ P.4
3. ドラッグストア業界の課題を成長機会に転換 P.5
4. 「両利きの経営」でエコシステムを創出 P.6
5. 株主還元のイメージ図 P.7

1. 資本政策の策定に向けて ～「両利きの経営」の加速～

- ・「成長と還元」の両立を目指した資本政策の策定により、ステークホルダーとの社会・企業価値を共創する。
- ・当社は「小売」と「データ」の異なる事業を有する「両利きの経営」を実践。資本政策を通じて異業種との連携方法の多様化を図ることでビジョン達成に向けたイノベーション・エコシステムを創出する。

Vision 東北から世界の健康をデザインする

「両利きの経営」の加速





資本政策

2. 資本政策の考え方 ～「成長と還元」の両立を目指す～

- ・「成長と還元」の両立を目指し、上場来初の自己株式取得を実施する。
- ・株主還元の充実に加え、自己株式の活用などを通じた社会課題を解決する事業共創の手段の多様化を図る。

「成長と還元」の両立を目指す資本政策

今後のイメージ	成長投資	 <p>小売事業</p>	60億円～	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 店舗 <ul style="list-style-type: none"> ・出店および既存店舗の改装 ・Medica社とのシナジー強化 ▶ DX <ul style="list-style-type: none"> ・O2O実現にむけたシステム強化 ▶ 人 <ul style="list-style-type: none"> ・早期戦力化に向けた研修 ・エンゲージメント向上による離職率低減
		 <p>ビッグデータ事業 インキュベーション事業</p>	1～5億円	<ul style="list-style-type: none"> ▶ スタートアップとの資本業務提携 <ul style="list-style-type: none"> ・異業種との連携強化 ・現金及び自己株式の活用
	還元	配当	5億円～	成長とのバランスを鑑みた配当の実施
	自己株式取得	3億円～	投資家との対話を通じた企業価値の向上を目指す	

3. ドラッグストア業界の課題を成長機会に転換

～リアル・デジタル分野において投資・共創を加速～

ドラッグストア業界の課題

「両利きの経営」で課題を成長機会に

3つの課題

インフレ時代の価値提供

- ・付加価値商品の開発
- ・体験価値向上に向けたサービス開発

リアル店舗の再定義

- ・データドリブン経営の実践
- ・データに基づいた商品開発・マーケティング

本質的なDX

- ・VUCA時代における機動的なシステム構築
- ・将来を見据えた研究・開発



深化

独自の「体験価値」提供

- ・健康チェック ・肌診断
- ・BOPIS (Buy Online Pick-up In Storeの略称)

データドリブン経営の実践

- ・Medica社のビッグデータ解析技術を活用した商品開発・マーケティング
- ・商品例：NEXT MEATS、and OHU

全体最適を目指したDXの実践

- ・店舗課題の抽出を行い、小売サプライチェーンに対して部分ではなく全体最適を目指したシステム構築を目指す



探索

店舗とシナジーを生むアプリ提供

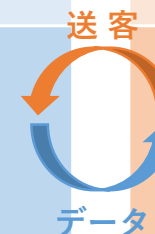
- ・外部パートナーとの連携強化
- ・特許技術の取得・活用

資本業務提携先のスクリーニング

- ・ESGの観点に基づいたスピード重視のプロトタイプ製作
- ・実店舗でのテストにより精度向上

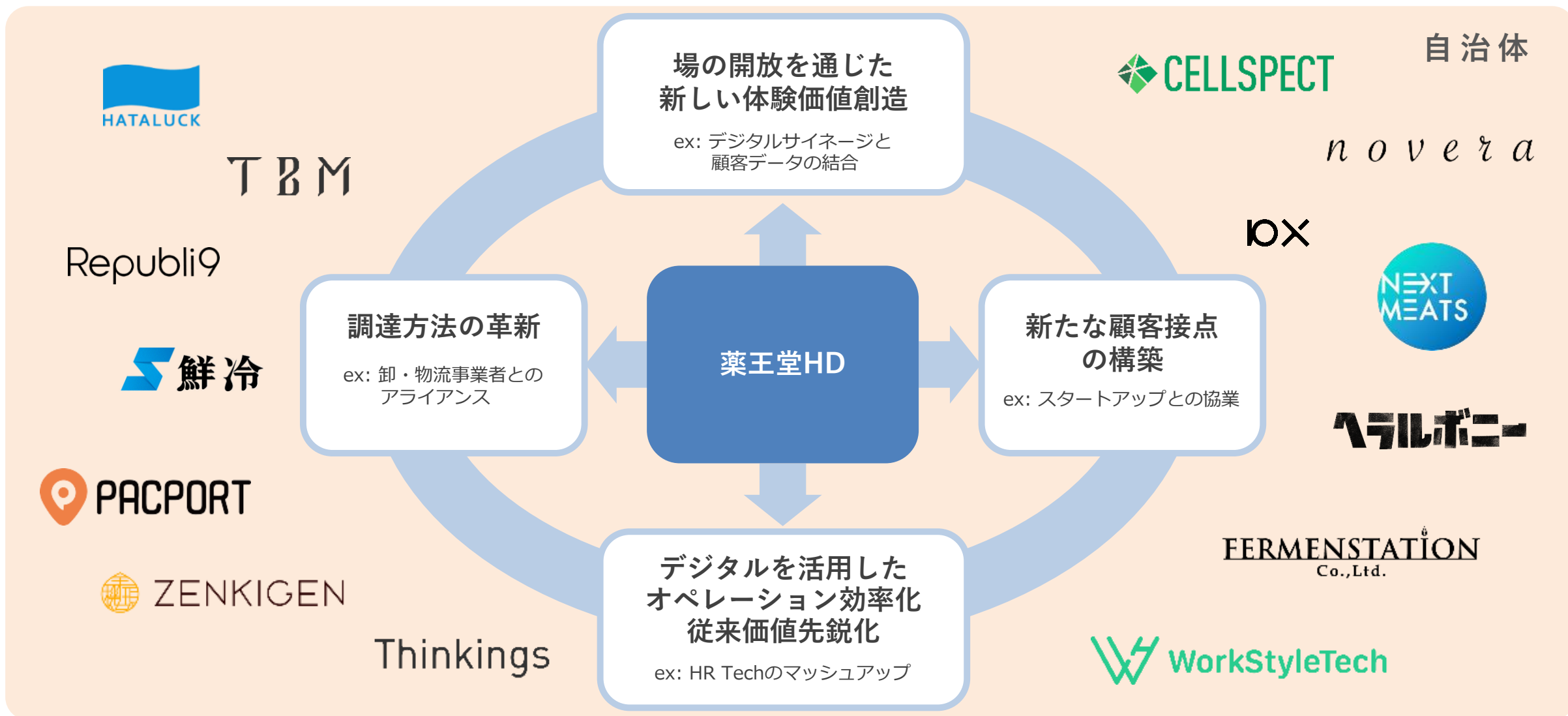
スタートアップとの連携強化

- ・小売、メーカー向けにデータ解析やアプリの共同開発をスタートアップと実施、マネタイズポイントの多様化



4. 「両利きの経営」でエコシステムを創出

東北から世界の健康をデザインするエコシステム



配当及び自己株取得の推移と今後のイメージ

(単位: 百万円)



方針

市場環境を鑑み、
機動的・継続的な株主還元
を実施する

今回対応策

自己株取得

株式数 : 150千株

取得価額 : 300百万円

取得期間 : 6/15~8/24

取得方法 : 市場買付

20XX年薬王堂HD店舗イメージ



問い合わせ先

株式会社薬王堂ホールディングス
管理部

TEL 019-621-5027